

令和6年度学校評価 成果と課題、改善点・方策等

分 掌	目標番号	項 目	1年間の成果と課題、次年度への改善点・方策等
総務部	④	防災意識の向上と身の回りの備品を大切にできるようにする	今年度の防災訓練は、第1回(9/2)はそれぞれの授業場所からの避難訓練、第2回(10/7)は教職員の担架を使った搬送訓練、第3回(11/21)はブラインド式の訓練、と重ねていく中で意見交換や役割確認など防災意識の高まりが見られた。また、9月より毎月防災通信を発行し情報提供を行っており、「自分ごと」として防災をとらえる視点を育てたい。校舎使用にあたっては、トイレや靴箱の使用について注意を呼びかけた。備品や施設を大切に使用することで規律ある学校生活を送れるよう、今後も指導を続けたい。
教務部	①④	基礎学力の向上と学習習慣の定着 授業に取り組む姿勢の確立	・1・2学期に欠点を持っていた生徒が多数おり、少しでも学習環境を高めるために、学年末考査前に自習室の開放を実施した。 ・朝の時間帯は、遅刻生徒も多く、服装指導も行っていることもあり、10分間勉強が落ち着いてきていないときもある。引き続き担任や副担任が協力し、落ち着いて学習に取り組む習慣を身につけさせたい。 ・各教科で、ICTを活用した研究授業を実施しているところである。リモートでの全校朝礼や表彰など、Teamsの活用も以前よりは進んでいるところではあるが、まだ十分とは言えない。また、来年度入学生からタブレットを購入することもあり、ロイノートの活用についての現職教育を実施した。
人権・同和教育部	⑤⑦	生徒・保護者の人権意識向上 地域との交流	人権・同和教育LHRにおける学びが生徒の心に残るものとなるように内容を精選し、ポイントを理解しやすい工夫した。課題としては、教職員が生徒の多様な反応に適切に対応できるよう、さらに研修を続ける必要がある。また、人権通信(教職員版)(生徒・保護者版)の発行やPTA新聞への投稿、文化祭での人権展、人権映画鑑賞会などを通した啓発をおこなった。PTA研修の「多様な性」をテーマとした研修会では、当事者のかたを講師に迎え、知識だけでなく、認識を深めるきっかけとなった。隣保館と計画的に連携し、地域の文化祭には教職員や生徒が参加し交流した。また、園芸交流やもちつき交流など各種交流活動を積極的に行い、地域の方々と触れ合うことで人間的なつながりを深め、社会とのつながりの中で自尊感情の醸成に繋げることができた。ボランティア生徒数の増加は今後の課題である。
特別活動部	③⑦	部活動の活性化 地域社会へ貢献	部活動やボランティア活動等に積極的に参加する生徒が少ない。あるいは、入部している生徒の減少(退部してしまう)が著しいと感じた。次年度においては、集会等の機会を利用し、部活動への加入やボランティア活動への積極的な参加を強く発信していきたい。今年初めてゆめタウン三豊で開催した「笠高フェス」では、各科の特色を生かした体験コーナーや即売を実施し、笠田高校の魅力を地域の方々に発信した。また、笠高祭においても新たなイベントの実施に取り組み、書道パフォーマンスや吹奏楽の講演を行った。こうした活動を通して、笠田高校の特色や魅力を生徒が発信することにより、地域の活性化を図り地域社会へ貢献していきたい。
生徒指導部	④⑤⑥	遅刻の減少 携帯電話のマナーを守らせる 基本的な生活習慣を身につけさせる	遅刻に関しては、6月から段階的指導を導入し、学校遅刻に関しては減少傾向にあるが、授業遅刻は逆に増加傾向にある。学校に時間通りに登校し、活動する意識をうえつけられるように指導していきたい。携帯電話のマナーについてはあまり問題意識が感じられない。粘り強く指導して、マナーを守るよう徹底していくしかないと思われる。また、積極的な挨拶に関しては、自分からしてくる生徒はまだ少数である。挨拶をすることを苦手としている生徒も若干見られるが、卒業後の就職・進学も見据えて、自ら積極的に挨拶ができるよう習慣づけしていきたい。
教育相談部	②	自己理解のための支援 課題解決のための援助	・SC、SSWの協力を得て、支援が必要だと感じる生徒や保護者と面談し、学校生活の問題解決を目指した。現状では生徒や保護者、担任からの情報をもとに対応しているが、生徒の困り感を教育相談部で集約するのが難しく、後手に回ってしまったと感じた。学年団とうまく連携し、限られたSC、SSWの勤務時間を有効に活用できるよう工夫していきたい。 ・今年度はLHRでSCの講演(幸せのものさし)を実施した。次年度も各自が自己理解を深められる内容を取り入れられるよう計画していきたい。
進路指導部	②	進路意識の向上(1,2年)と 進路実現(3年)への支援	進路関係の諸行事については、概ね年度当初の指導計画通りに実施することができた。1・2年を対象とした進路講演会やガイダンス、新規に開催した校内企業説明会等も予定通り実施でき、低学年より進路について学ぶ機会も確保できた。今年度の3年生は、就職希望が約6割と多く、ホテル、介護、運輸、サービス業など希望職種も多岐にわたっていた。進学は、農業や医療、美容、保育系など、専門性を生かせる学校や国家資格が得られる学校への進学が多かった。自己の適性や関心をふまえた進路選択ができるよう、低学年からの指導と職業観の涵養が重要である。学年団や科と連携して進路行事後に高まった意識をうまくつなげていき、生徒が主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や職業観を低学年から育成していきたい。
保健部	②	積極的な健康作りの推進・安全意識の高揚を図る	体調不良を訴え、保健室を来室する生徒に対し、生活リズムを振り返り、基本的な生活習慣を整えるよう意識づけを行っている。健康診断前に目的や説明を保健委員が行い関心を持てるよう取り組んだ。健康診断の事後措置として、生徒個人の結果一覧を配付したが、精密検査や受診が必要な生徒のうち未受診の者がいる。今後も指導を続けていきたい。心の健康や性に関する指導は計画通り実施することができた。昨年度に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したため、感染症対策が変更し、新しい感染症対策に合わせて取り組んでいる。新型コロナウイルス感染及びインフルエンザ対策として、生徒保健委員が昼食時定期的に注意喚起を行っている。
農場部	⑦	農業のスペシャリストとして、地域社会に貢献できる生徒の育成	各部門で1年生へは基本的な知識・技術を定着させた。2年生へはより専門性の高い内容に取りませた。3年生では専攻生として必要な知識・技術とともに、1、2年生への指導ができるような態度を身につけさせる指導を行った。地域社会に対しては、近隣の小・中学校や幼稚園、保育所との交流や、新鮮市でのデイケアセンターとの販売を通して農福連携に取り組むなど、農場全体で取り組むことができた。また、11月には西讃農業改良普及センターの協力のもと行う地域と連携した農業実習では、農業科2年生全員が地元先進農家へ実習に行き、農業について理解を深めた。
家庭部	②	主体的に学び、専門性を高めるための努力ができる生徒の育成	実習については、学年が上がるほど熱心に取り組んでいる。また、家庭科技術検定についてもほとんどの生徒が意欲的に取り組み、今年度は三冠王が4名、技術特級が11名取得でき、近年で飛躍的に取得者数が増えた。最後まであきらめずに努力した結果だと考える。その他、保育検定やビジネス文書実務検定など、資格取得に積極的に取り組んだ。しかし専門のコースの検定で合格できず苦慮している生徒も増えているので、生徒のやる気高め、きめ細かい指導を根気強くしていきたい。コンクールの応募については、ファッションデザイン、料理、おもちゃ等複数応募することができた。家庭科の備品の扱いについても、十分でない生徒も多いので、合わせて今後も指導を続けていきたい。
1年団	①④	規律ある生活習慣の確立 向学心の育成	多くの生徒は安定した学校生活を送っており、目標をもって校内外の活動に積極的に参加する生徒も増えてきた。規律が守れない生徒に対しては保護者とも連携を図りながら指導を重ねてきたが、その場では反省はするものの集団に戻ると雰囲気にならなくなり長続きしないという繰り返しが続いた。科目選択や進路LHR等を通して卒業後の進路への関心が高まりつつあるのを好機として、充実した高校生活へと導いていきたい。また、ケアが必要な生徒については、引き続き面談や家庭訪問などをし、保護者、SSWやSCと連携を図りながら対応していきたい。
2年団	④⑤⑥	高校生としての自覚に基づいた行動をさせ、周りのことを考えた生活を送らせる	自覚ある行動をとれるようになった生徒が増えてきた分、周りの迷惑を考えず自分勝手な言動をする生徒が大きく目立つようになってきた。繰り返し指導を重ねてはいるが、改善の様子が見られない生徒が少なからずいることが非常に残念である。自分の進路についてしっかりと考え行動できている生徒に対し進路実現へ向けて確実に歩んでいけるように指導を続けるとともに、自覚が足りない生徒に対して保護者とも連携を図りながらきちんとした高校生活を送らせることができるように指導ができるかが大きなポイントとなる。
3年団	②④⑥	進路実現に向けて、自ら努力をするとともに社会性を養う	自らの希望する進路を実現させるために、基本的な学力を身に付けさせた。進路がまだ決まっていなかった生徒も数名いるので希望者の進路の実現に取り組みたい。社会人として周囲から認められる人物になるために、ルールやマナーを守り基本的な生活習慣を確立をめざした。進路先の受験を機に一定程度改善した生徒も見受けられたが、改善の見られない生徒もいるので引き続き指導をしていきたい。